

北九州医療・介護連携プロジェクト 北九州とびうめネット連携事業（案）

事業概要：医師会が運用中の「とびうめネット」に、北九州市の住民の医療・介護情報（レセプト情報）を提供し、切れ目のない医療・介護サービスを実現する。

1. 現行（とびうめネットとは）

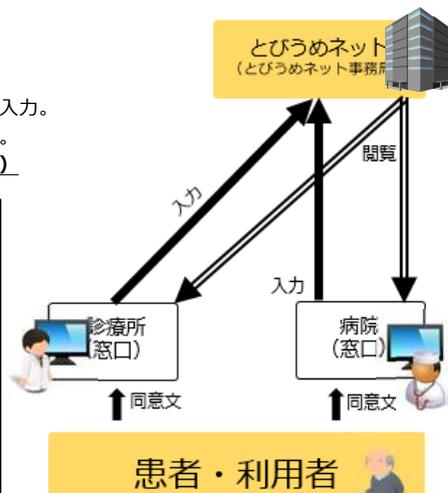
- かかりつけ医が、患者の同意の下、診療結果を「とびうめネット」に入力。
- その情報を他の病院・診療所が閲覧して診療に役立てることができる。
- 事業主体：福岡県医師会（各地域での運用は、郡市区医師会で定める）



現在のチラシ（表面）



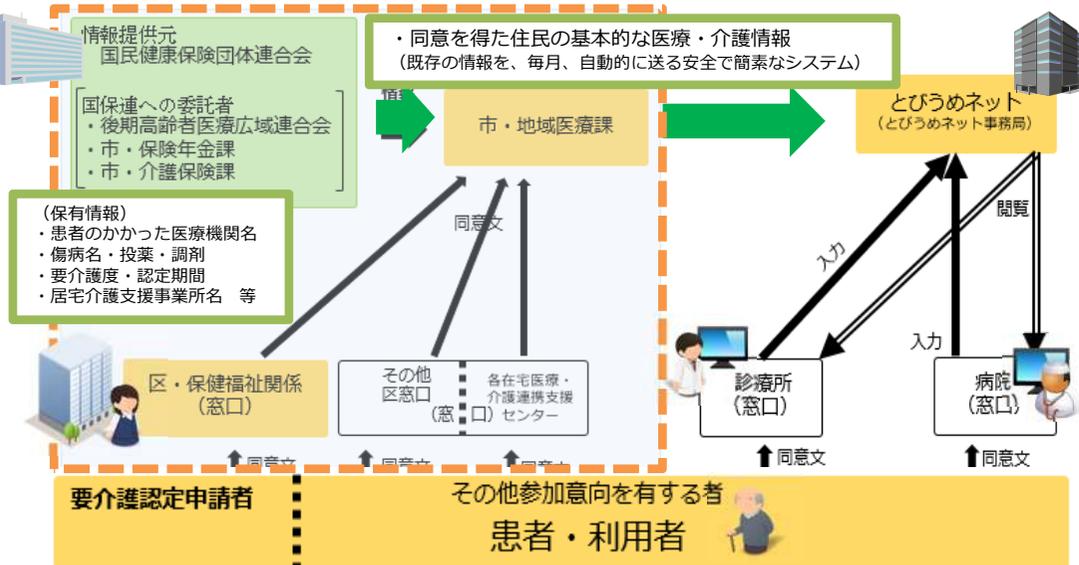
現在のチラシ（裏面）



- 市内での導入医療機関数：約100医療機関
- 市内での登録患者数：約1500人（情報は最新のものとに限らない）

2. 改善案（本市の支援）

改善後



※要介護（要支援）認定者数：65,704人（令和元年5月末時点）

3. 本事業による効果

現状

市民

- 既往やお薬の情報、かかった医療機関やケアマネジャーの名前を **自ら管理し、医療・介護関係者に毎回伝えなくては**いけない。
※今後増加する高齢独居・老老世帯、認知症の方などは、自ら情報を管理・伝えることが困難になる。
- 適切な医療・介護が受けられないと、**重度化・再入院につながり、地域で住み続けられない。**

医療・介護関係者

- 本人から医療・介護情報（既往やお薬、かかりつけ医・ケアマネの名前）をもらえないと、**情報収集に時間・手間がかかる。**
- 情報不足のまま適切な医療・介護ができないと、**重度化・再入院につながり、現場負担が増える。**

市

- 情報不足のまま適切な医療・介護ができないと、**重度化・再入院につながり、医療・介護財政を圧迫する。**
- 行政的に保有する**情報の有効活用を一層進めることへの要請**がある。

実現可能となる姿

- 医療・介護が連携した支援の必要が高い高齢者には、**行政手続（要介護認定申請など）の中でも参加の声かけ**がされる。
- 24時間、どこの医療機関でも**、基本的な病名・お薬の情報、患者がかかった医療機関やケアマネ事業所などの**患者の基本的な情報**がわかる。
- 基本的な情報で、**適切な医療の提供**に資する。
- 本人にかかわる医療機関やケアマネがわかるので、**すぐに連携して退院に向けた協働**ができる。
- 本市の**限られた医療・介護の人的資源・財源を効果的・効率的に活用**できる。
- 本人の**権利利益を守りながら、行政的に保有する医療・介護情報の有効活用**ができる。

改善後

4. 事業主体

○福岡県医師会、北九州市医師会、各区医師会、北九州市

5. 事業の対象者

○**要介護（要支援）認定申請者を中心に、とびうめネットに自身の医療・介護情報を提供することを承諾し、本事業に登録した者**

6. 提供する情報

共通情報：基本四情報（氏名（カナ氏名含む）、住所、生年月日、性別）

医療情報：医療機関名、傷病名、投薬、調剤（医薬品名など）

介護情報：要介護度、認定期間、サービス事業者名（居宅介護支援事業所など）

※福岡県国民健康保険団体連合会の有する後期高齢者医療制度、国民健康保険、介護保険のレセプトデータ等から抽出

7. 主な論点

①費用	○開発・運用経費：福岡県地域医療介護総合確保基金（福岡県医師会への交付分）の活用
②個人情報の取扱い	○医療・介護情報の提供について、本人同意を得るので、法的な問題はない。 【参考】窓口で得る本人同意の内容 ①本市が国保連から提供を受けた医療・介護情報をとびうめネットに対して提供すること ②①の情報を、とびうめネットが登録医療機関に提供すること
③セキュリティ	○北九州市からとびうめネットへの医療・介護情報の提供は、専用回線で実施 ○医療機関が情報を閲覧する際は、VPNを活用 ○上記はともにインターネットとは隔絶された環境であり、安全を確保。

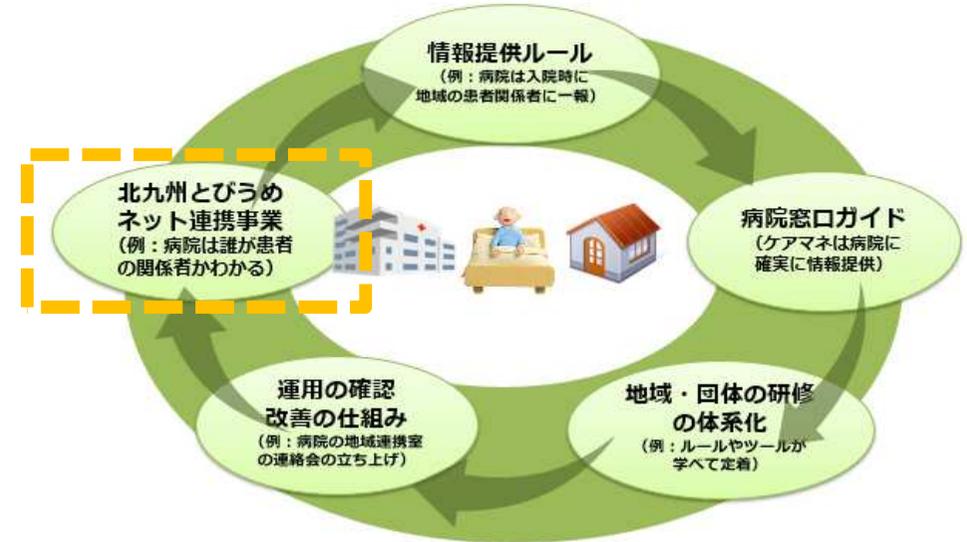
8. 今後必要な段取り・スケジュール

- 令和元年秋ごろ 八幡東区・八幡西区でモデル実施（予定）
- 令和2年春 効果検証
- 令和2年春以降 全市展開

参考

北九州医療・介護連携プロジェクト

=切れ目ない医療・介護の提供のため
医療・介護等専門職が的確かつ効率的に連携できる環境を整備



- 「病院窓口ガイド」は平成30年度に作成・公表
- その他のツール・ルールや取組は令和元年度に実施（第3回プロジェクト会議合意事項）

参考

北九州医療・介護連携プロジェクト会議（平成30年8月）

患者・利用者や、その家族を中心として、切れ目のない医療・介護等の支援を提供するため、**市内の医療・介護等の関係機関が実施すべき取組や、その普及・徹底方針の策定、それらの実施状況の進捗管理、効果検証、見直し**を行うため、「北九州医療・介護連携プロジェクト会議」を立ち上げ（平成30年8月）

構成員

NO	氏名	団体（所属）	役職
1	安藤 文彦	公益社団法人北九州市医師会	専務理事
2	犬塚 寛	公益社団法人福岡県介護老人保健施設協会 北九州ブロック	
3	加藤 ひとみ	小倉医師会訪問看護ステーション	管理者
4	関地 敦子	公益社団法人福岡県看護協会	北九州地区長
5	佐藤 千穂	公益社団法人北九州市薬剤師会	理事
6	重藤 弘之	一般社団法人北九州市歯科医師会	理事
7	白木 裕子	NPO法人ケアマネット21	代表
8	白土 健司	小倉在宅医療・介護連携支援センター	管理者
9	曾我 満美	公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会	副会長
10	玉野 和男	公益社団法人福岡県作業療法協会	理事
11	坪根 雅子	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	常任理事
12	藤好 正和	一般社団法人福岡県医療ソーシャルワーカー協会	理事
13	山内 康太	公益社団法人福岡県理学療法士会	理事
(オブザーバー)			
	権頭 聖	公益社団法人北九州市医師会	理事

作業部会

NO	氏名	団体（所属）	役職
1	加藤 ひとみ	小倉医師会訪問看護ステーション	管理者
2	関地 敦子	公益社団法人福岡県看護協会	北九州地区長
3	権頭 聖	公益社団法人北九州市医師会	理事
4	青尾 雅幸	公益社団法人福岡県介護支援専門員協会	常任理事
5	末次香代子	NPO法人ケアマネット21	理事
6	藤好 正和	一般社団法人福岡県医療ソーシャルワーカー協会	理事
7	松本 麻子	八幡在宅医療・介護連携支援センター	主任

北九州市関係課連絡会議

- ・保健福祉局 地域医療課（事務局）
- ・長寿社会対策課／地域福祉推進課／介護保険課／健康推進課
- ・精神保健福祉課／リハビリテーション推進課
- ・認知症支援・介護予防センター
- ・消防局 救急課